

# シミュレーション 花火競技大会 2021

## デジタルと花火が融合した新しい形の芸術

歴史をさかのぼること約1400年前の西暦600年頃に中国で黒色火薬が発明され、花火文化が始まりました。その後、18世紀以降の科学技術の発展で新しい火薬が発明され、花火の色彩が豊かになりました。そして現在、花火はデジタル技術によって進化しています。コンピューターソフトウェアを使って音楽とシンクロで打ち上げる花火は、全国各地の花火大会で人気になっています。さらに近年は、ソフトウェアでつくられたバーチャル花火の動画作品が、新たな芸術として知られるようになってきました。ドイツ、イタリア、オーストリア、フィリピン、台湾などではシミュレーション花火の作家が増えており、日本でも徐々に増えています。

皆さんそれぞれ色々な花火を見た思い出があることでしょう。ドンという音とともに花火が打ち上がり、上空で大きな花が開く。色が美しい花火、形がおもしろい花火、皆さんが今までに見た好きな花火をコンピュータで再現しつつ工夫を加えるのもよし、好きな曲に花火演出を乗せてみるのもよし。皆さんが思い浮かべた花火芸術を、「花火ってこういうもの」とらわれることなく、デジタルの力を借りて、動画で表現してみませんか？

作品募集期間：

**2021年8月16日 ▶ 10月17日**

大会ライブ配信：

**2021年11月6日19:00頃～  
(Youtube)**

応募部門：①課題曲部門（「海神」/S.E.N.S.）  
②単発部門  
③自由曲部門

視聴者と審査員の審査により優秀作品を決定し、賞状および記念品を贈呈します。

詳細・お問い合わせ：

シミュレーション花火協会ウェブサイトをご覧ください。

URL <https://eh.almg.tech/>

Mail [official@almg.tech/](mailto:official@almg.tech/)

